

# JPPaC セミナー



日時：2015年6月17日（水）1830pm-20:30pm

「治る病で命を失わないために～摂食障害の治療と支援

～アメリカからの提言～

講師：安田真佐枝先生（カルフォルニア大学ロサンゼルス校 UCLA メディカルセンター思春期摂食障害専門病棟看護師）

場所：渋谷文化総合センター大和田 学習室7（裏面地図参照）



摂食障害をめぐる、医療、社会、患者の間には様々な問題があるにも関わらず、社会全体の認識は低い疾患です。

国の難治性疾患克服研究事業の対象疾患のうち、精神疾患は摂食障害（神経性過食症・神経性食欲不振症）のみである。

死亡率は 6-20%で他の精神疾患より高く、発症年齢の低年齢化や若い女性を中心に好発していることが指摘されている。しかし公的な専門機関は皆無であり、専門とする医師の数は限られ、数少ない専門外来には患者が集中し、初診まで数か月待ち状態である。

今回は、アメリカにおいて最先端の摂食障害治療に看護師として長年携わる安田さんから、日本が目指したい患者さん中心の摂食障害治療・支援の在り方を考えます。

## <申込み先>

ホームページ：<http://www.jppac.or.jp> もしくは E-mail: [info@jppac.or.jp](mailto:info@jppac.or.jp)

参加費用：一般 2000 円、学ぶ会会員、1500 円 懇親会 3500 円

当日連絡先：090-5215-8590（堀）

## <安田さんの紹介>



聖路加看護大学卒業後、精神急性期病棟、小児科、養護教諭を経て、アメリカテネシー州バンダービルト大学看護修士課程に留学。オレゴンヘルスサイエンス大学にて修士課程修了。急性期慢性期精神病棟勤務を経て帰国。2年間兵庫県立大学看護学部にて助教として勤務した後、再渡米。2011年より、カリフォルニア大学ロサンゼルス校思春期摂食障害病棟にて正看護師として勤務中。2014年に摂食障害ホープジャパンを設立し、「日本にも2020年までに摂食障害専門施設を作ろうプロジェクト」展開中。ロサンゼルスにおいて、日本の医療従事者向けのスタディツアーを開催、また翻訳本「私はこうして摂食障害(拒食、過食)から回復した」を出版し、摂食障害とは完全に回復する病気なのだというメッセージを日本にも届けたいと思っている。2冊目にセルフヘルプの本も翻訳中。

## <場所> 渋谷総合文化センター大和田（渋谷駅から徒歩5分）

<http://www.shibu-cul.jp/access.html>

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21

**JPPaC とは「患者中心の医療を共に考え 共に実践する協議会」**

- "Japan Partners for Patient-Centric Care" です。患者中心の医療とは何かを学び、考え、「全てのサービスは患者のために」を実践したいと願っています。昨年11月にNPOを立ち上げ色々な方をお招きして毎月1回の勉強会を実施しております。

